

櫛引地域審議会 提言書

平成23年12月15日

はじめに

南庄内の6つの市町村が「出羽庄内に多様性が生き 新しい時代のいのち輝く 希望のまち」を新市建設の基本理念とし、新鶴岡市が誕生し既に6年が経過しました。

この間、新市の一体感の醸成や、合併後はじめてとなる総合計画を策定し、これからの時代を展望した、新しい鶴岡市がめざすべき都市像の実現に向け、ご尽力されておりますことに衷心より敬意を表するものであります。

新市の発足は、地域の少子高齢化を伴う人口減少の進行や、社会経済情勢の激しい変化など、厳しい環境の中にあつて、数々の課題を克服し、将来とも健康で安心・安全な住民生活を送ることができる環境づくりを進め、地域活力を維持・増進することを目的に進められたものであります。

櫛引地域審議会では、合併後に実施した櫛引地域コミュニティ実態調査から、共通の課題として整理された項目について、平成22年度からその解決と地域の活性化に繋がる施策へ反映していただくことを目的に、協議テーマを設定し議論を進めてまいりました。

平成22年国勢調査の確定値がこのほど発表になりましたが、前回調査との比較では、鶴岡市全体では人口で5,761人減、率で4.05%の減、櫛引地域では、7,794人と前回調査の8,320人から526人減、率で6.32%の減少となっております。なかでも、中山間地域での進行が著しく、これまで相互扶助や、人と人とのつながりにより地域のコミュニティが果してきた、草刈などの共同作業や集落環境の保全、地域の祭りや防災など、今後、将来的にも活動が継承していけるか危惧される状況もあります。

このたびの提言は、限られた時間ではありましたが、現状と課題を踏まえその解決方策等について、委員から多くの発言があり課題意識が強かった項目の一部について取り纏めたものであります。

地域の多様な資源や特性を生かし、誰もがこの地域に「住んで良かった」「住み続けたい」と思う、魅力や活力ある地域づくりの実現に向けて、市民自らも取り組むことはもちろんであります。行政の具体的な地域振興施策として反映していただけるよう強く希望するものであります。

平成23年12月15日

鶴岡市長 榎本政規 様

櫛引地域審議会长 前田 勝

目 次

I 地域振興に関する提言

提言1 行政による積極的な婚活支援の推進

- | | |
|---------------|---|
| 1. 現状と課題 | 1 |
| 2. 提言の概要 | 1 |
| 3. 具体的な解決策・施策 | 2 |

提言2 地域コミュニティの活性化方策について

- | | |
|---------------|---|
| 1. 現状と課題 | 3 |
| 2. 提言の概要 | 3 |
| 3. 具体的な解決策・施策 | 4 |

II 櫛引地域審議会 の開催状況 6

III 櫛引地域審議会委員名簿 7

I 地域振興に関する提言

提言 1 行政による積極的な婚活支援の推進

1. 現状と課題

▼晩婚化や非婚化の進行

平成 20 年度から 22 年度の 3 か年で実施した櫛引地域のコミュニティ実態調査において、多くの集落で若者の晩婚化や非婚化が、集落の少子化を加速させている現実と、それが後継者問題や空き家問題、更には地域の活力低下にまで波及してくるという心配の声が多く寄せられた。

櫛引地域で、平成 22 年度に実施した「20～40 代の市民の生活・意識に関するアンケート調査」においても、未婚者の意識やその行動分析から、何らかの手立てを講じなければ、晩婚化や非婚化は今後も更に進んでいくことが窺えるものとなっている。また、このことは、櫛引地域固有の課題ではなく鶴岡市や全県的にも言えることである。

山形県にあっては、県全体で若者が結婚を前向きに捉えられるよう意識啓発を進めるとともに、出会い・結婚につながるサポート体制を充実させ、婚活(結婚活動)を盛り上げるため「やまがた婚活応援団^{プラス}」を、平成 22 年 1 月に設立したところであり、鶴岡市にあっては県とも連携した積極的な事業展開が求められている。

2. 提言の概要

▼行政の積極的な婚活支援の推進

結婚については個人の選択の問題ではあるものの、若者が結婚を前向きに捉え、結婚したい人が結婚しやすい地域社会の実現には、行政のみならず各分野がそれぞれの役割を果たしながら、連携して取り組むことが不可欠である。その中でも行政の果たすべき役割や、行政の取り組みに寄せる期待は極めて大きいものがあつた。

地域の活力維持や後継者対策、更には少子化傾向の加速化を抑制するためにも、行政が積極的に結婚活動の支援、いわゆる婚活支援を行っていくべきであり、また、それは早急に取り組む必要がある。

櫛引庁舎が平成 23 年度に実施した婚活支援対策事業で、独身男女を集めた出会いパーティーの開催では、女性の参加者も多く一定の成果を上げている状況もあり、市が当

該事業を実施する意義は大きいと思われる。

今後については、当該事業を一時的な事業に終わらせることなく、継続的に更に全市的に推進していく必要があり、他の施策や事務事業とも連携させつつ、より積極的な事業展開を図られるよう提言する。

3. 具体的な解決策・施策

▼行政による独身男女の出会いの場の創出

櫛引地域でのアンケート調査によると、未婚者が特定の異性と交際していない割合は男性で約68%、女性で約55%あり、この数値は全国的にも増加傾向にあるが、当地域では男女ともに全国数値より高い状況にある。また、未婚者が同じ年代の異性と新たに出会う機会は、「1年に1回程度」か「ほとんどない」が男女ともに5割を超える状況にあり、行政も積極的に独身男女の出会いの場を創出し、婚活イベント等に参加する独身男女の裾野の拡大を図ること。

▼地域の団体・企業等との連携協力

婚活支援を行なう民間の団体や企業等とも連携し、各種の婚活支援事業開催の情報が独身の男女やその家族へ確実に届くように、市の広報やホームページ等を活用するなどして、積極的な情報発信を図ること。

▼他市町村との連携強化

出会いパーティー等の開催にあつては、独身男女を鶴岡市民だけを対象にしたものでは、参加者の裾野の拡大は難しい面もあるので、他市町村とも連携を強化しながら、広く参加者を募り開催すること。

▼若者が地域に定着できる雇用の場の確保とその創出

未婚化や晩婚化の進行には、若者の地域外への流出や、雇用の場の不足による経済面での不安定要素もあることから、雇用の場の確保とその創出に努めること。

▼地域社会全体で子育て支援の充実

婚活支援は、行政のみならず家庭や地域、職場や学校、結婚支援事業者等各分野がそれぞれの役割を果たしながら、連携して取り組まなければ成果を上げることは難しい課題ではあるが、若者が結婚を前向きにとらえられるような意識醸成や、その環境整備には、行政が率先してその先導的役割を果たすこと。

提言2 地域コミュニティの活性化方策について

1. 現状と課題

▼地域コミュニティが抱える多くの諸課題

先に実施した、櫛引地域のコミュニティ実態調査において、21の全集落からの聴き取りから、共通の課題として整理したものには11の項目があった。具体的には、①少子高齢化の進行、②高齢者世帯の増加、③高齢者支援システムの整備の必要性、④空き家の増加、⑤若者の定住促進、⑥結婚対策、⑦自治組織の活性化、⑧婦人組織の活性化、⑨防災体制の強化、⑩伝統・文化の継承、⑪農業後継者対策である。

これらの課題項目は、一つ一つが独立した課題ではなく相互に密接に関係しているものである。

その中で、特に委員から多くの発言があり課題意識が強かったものの一つに、自治組織運営に係る住民負担の問題がある。このことは、集落人口の減少や勤務形態の多様化により、環境保全に係る草刈りなどの共同作業の負担増加や、老人世帯等の増加により自治会運営にかかる金銭的負担感も相対的に増加している。これは、集落規模やそれぞれの集落の事業内容によっても大きな格差がある。しかし、この地域住民による共同作業などのこれまでの実施が、地域における公益の理念を育み、「地域の住民みんなが、お互いに支えあって地域をつくっていく」という意識を醸成してきたものであり、引き続き大切にしていける必要がある。

また、地域のコミュニティ形成と密接な関係にある伝統芸能にあっては、黒川能をはじめとする伝統芸能の後継者の確保が、若者の減少や勤務形態の多様化などから、総じて困難化しつつあり、貴重な地域の伝統文化が、今後も継承されていくかが危惧される状況にある。

2. 提言の概要

▼自治組織の運営支援に向けて

櫛引地域は、21の自治組織で構成されており、その組織数は他地域に比べても、最も集約されている現状がある。その中で、これまで当地域は、集落単位に自治公民館組織を置き公民館活動を行ってきた経過があり、地域の自治会を担う人材育成の大切な場ともなってきた。しかしながら、この自治組織も個別に見れば、29戸の集落から360戸の集落まであり、中山間地域の条件不利地域と国道沿いの地域とには、規模及び地理的

条件においても大きな差があり、自治組織運営のための住民の経費負担についても、個別にはそれぞれ大きな違いがある。

今後、市においては、「鶴岡市コミュニティ基本方針」（仮称）を策定することとしているが、策定にあたっては、異なった地域課題を持つ集落ごとに、個別に支援・指導できる体制とその窓口機能を地域庁舎に整備しておくことを望むものである。

また、自治会組織維持のための財政支援については、集落毎のこれまでの経過や、個別の取組みについては尊重しつつ、財政支援の総合交付金化にあっても、結果的に、住民負担の増とならないような方向で調整されることを強く望むものである。

▼伝統芸能の保存伝承支援の拡充

櫛引地域には、黒川能をはじめとして、天狗舞・獅子舞などの伝統芸能が数多く伝承されているが、伝統芸能を継承していく力が、コミュニティ運営の求心力に繋がっている側面があり、自治会活動と地域文化や伝統芸能は切り離して考えることができないものでもある。

伝統芸能の継承にあっては、後継者の育成で苦労している面はあるが、若い後継者が入っている団体にあっては、大変活発に活動が行なわれているところもあり、世代を超えた人的交流等により、結果として地域の活性化に繋がっている地区もある。

今後についても、伝統芸能の保存伝承に対しては、引き続き行政による積極的な支援が求められており、地域の特色が活かせる事業予算枠としても、一定の予算額を確保して行なっていくことを望むものである。更に、市においては、個別の伝統芸能の発表の場を設定するなど、広く多くの市民に紹介していくとともに、優良団体を顕彰する仕組みなども構築していく必要がある。また、その伝統芸能の記録保全については、行政としても強力に支援していくことを、提言するものである。

3. 具体的な解決策・施策

▼自治会組織支援への庁舎の体制整備と窓口機能の確保

行財政改革が推進されている中ではあるが、異なった地域課題を持つ集落ごとに、個別に支援・指導できる体制と、住民サービスに直結する行政事務の各分野の窓口機能は、引き続き地域庁舎に設置すること。

▼自治会組織に対する財政支援の継続

自治会組織維持のための支援については、集落ごとのこれまでの経過や、個別の取組みについては尊重しつつ、財政支援の総合交付金化にあっても、結果的に、住民負担の増とならないような方向で調整を図ること。

▼地域活性化事業等の地域の特色が活かせる予算枠の確保

地域の多様性を活かした地域づくりや、地域の可能性を引き出す独自の事業等の予算については、引き続き庁舎単位で一定額の枠を確保すること。

▼伝統芸能の発表の場の設定と記録保全への支援

市は、個別の伝統芸能の発表の場を設定するなど、広く多くの市民に紹介していくとともに、優良団体を顕彰する仕組みなども構築していくこと。また、その伝統芸能の記録保全については、行政としても強力に支援していくこと。

Ⅱ 櫛引地域審議会の開催状況

平成22年度

回数	開催日	内容
第1回	6月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算及び主な事業の概要について ・ 地域課題調査等の取り組みについて ・ 地域審議会協議テーマと今後の進め方について ・ 鶴岡まちづくり塾櫛引地域検討報告会 参加
第2回	10月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマに関する講話聴講(2講師) ・ 「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査」1次集計分析 ・ 「地域社会で取り組む結婚支援のあり方」協議
第3回	11月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴岡市総合計画実施計画に策定について ・ 地域コミュニティ実態調査の実施状況と課題について ・ 「櫛引地域農業農村課題調査」の中間報告について ・ 「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査」2次集計分析 ・ 「地域社会で取り組む結婚支援のあり方」協議
第4回	2月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 慶應義塾大学先端生命科学研究所出張出前講座聴講 ・ 学校適正配置検討作業について ・ 平成22年度の協議テーマに係る中間提言について ・ 次年度の協議テーマについて

平成23年度

回数	開催日	内容
第1回	5月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算及び主な事業の概要について ・ 23年度の地域協議テーマの設定と今後の進め方について ・ 行財政改革について
第2回	8月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「地域コミュニティの活性化方策について」協議
第3回	10月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「地域コミュニティの活性化方策について」協議 ・ 行財政改革における地域庁舎の見直しについて
第4回	11月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴岡市総合計画実施計画の策定について ・ 鶴岡市国土利用計画について ・ 櫛引地域審議会の提言書(案)について

Ⅲ 櫛引地域審議会委員名簿

任期：平成22年6月10日～平成24年6月9日

役職	所属団体名等	所属役職名 または職業	氏名		備考
会長	櫛引区長会	会長	齋藤三紀	前田勝	H23. 5. 23付交代
副会長	櫛引地域婦人会	会長	畑山久恵		
委員	櫛引自治公民館連絡協議会	会長	上野進	平藤博巳	H23. 5. 23付交代
委員	鶴岡市黒川地区農業村落振興会	会長・副会長	齋藤賢一	小林貢	H23. 5. 23付交代
委員	庄内たがわ農業協同組合	理事	成田新一		
委員	株式会社産直めぐり	代表取締役	澤川宏一		
委員	出羽商工会櫛引支部	代表理事	渡会昇		
委員	櫛引観光協会	会長	松浦安雄		
委員	鶴岡市社会福祉協議会	理事	佐久間泰子		
委員	櫛引地区民生児童委員協議会	会長	田中敦	秋山武弥	H22. 12. 1付交代
委員	櫛引PTA連合会	会長	鈴木太一郎	齋藤平	H23. 5. 23付交代
委員	櫛引体育協会	会長	金内勝雄		
委員	荘内加藤清正公忠廣公遺蹟顕彰会	副会長	小林良市		
委員	鶴岡市老人クラブ連合会 櫛引支部	支部長	五十嵐繁		
委員	鶴岡市消防団櫛引方面隊	隊長	伊藤信		
委員	公募卒	大学非常勤 講師	成田勇		(松根塾・塾長)
委員	公募卒	農業	遠藤一男		(宝谷地区区長)
委員	公募卒	自営業	宅井きく		(NPO法人庄内インシュ タインの会・理事長)
委員	公募卒	農業	芳賀俊之		(庄内医療生協櫛引 支部・支部長)
委員	公募卒	大学生	阿部元喜		(鶴岡まちづくり塾 ・塾生)